

酒田市男女共同参画推進センター

No.87

ウィズ・レター



目次 ▼講演会のお知らせ▼ウィズ講座のお知らせ▼庄内ちえりあ主催：講座のお知らせ
▼男女共同参画週間：酒田エフエムラジオ放送紹介▼ウィズサポーターの声

講演会のお知らせ

- ◇ H29 酒田市男女共同参画推進事業
- ◇ 東北公益文科大学 公益教養プログラム「FORUM21」

男性も

『まちこが語る女性活躍』

～ 女性も男性も、それぞれが持っている力をお互いに引き合い、それぞれの立場で
生き生きと輝いていくためにはどうしたらよいか、一緒に語り合ってみませんか。～

講師 伊藤 眞知子氏

司会 矢口 明子氏



- 日 時：平成29年6月24日（土）午前10時～11時30分
- 会 場：酒田市中町にぎわい健康プラザ 1F 集いのスペース（清水屋向かい）
- 講 師：伊藤 眞知子氏（東北公益文科大学 大学院公益学研究科長・教授）
- 司 会：矢口 明子氏（酒田市副市長）
- 対 象：18歳以上 男女どなたでも ●定 員：50名
- 参加費：無料（申込が必要です）
- 申込み・問合せ：酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」

申込み
受付中

①名前 ②年齢 ③連絡先（電話番号）をお知らせください。
電話 0234-26-5616、e-mail:with@city.sakata.lg.jp

ウィズ講座
参加者募集

「エンディングハートの書き方」

講師 成沢 まつ枝氏

“終活”とは、人生をよりよくするための活動です。

夫婦のあり方について考えるきっかけを作り、「終活」の第一歩として、自分にもしものことがあった時に、残された家族が困らないように、自分ができることを学んでみませんか。



●日 時：平成29年**7月1日（土）** 午後**1時30分～3時30分**

●会 場：酒田市交流ひろば 交流室（酒田市中町三丁目）

●講 師：成沢 まつ枝 さん（金融広報 アドバイザー・税理士）

●対 象：50代以上男女

●定 員：20名

●参加費：100円（お茶代）講演終了後、講師を囲んでお茶を飲みながら懇談。

●申込み、問合せ：酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」

①名前 ②年齢 ③連絡先（電話番号）を
お知らせください。

電話 0234-26-5616、e-mail:with@city.sakata.lg.jp

平成29年度 女性のためのこころのケア講座

～ 私らしく生きていくためにできること… 自分を大切にすることからはじめよう！～

ファシリテーター：東北公益文科大学 伊藤 眞知子 氏

「庄内ちえりあ」が主催する「女性のためのこころのケア講座」が今年度も6月から始まります。毎回違うテーマで、自分のこころのセルフケアのための知識や対処法を学びます。女性限定のリラックスした雰囲気の中、自分をいたわり、前向きな気持ちになれる時間を提供していただきます。申込は不要です。連続講座ではありませんので、参加したい回に直接会場にお越しください。

【場所】：東北公益文科大学大学院セミナーハウス（鶴岡公園内）【対象・定員】 高校生以上の女性20名

【参加費】 各回 500円（小物作り材料費・お茶代）

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1 DV・トラウマを理解する ～前へとまた歩きはじめよう～ | 6月25日（日）10：00～12：00 |
| 2 境界線 ～快適な関係づくりのために～ | 9月 3日（日）10：00～12：00 |
| 3 Bさん（加害者）とは ～「いけないのは自分」と思っていないか？～ | 10月22日（日）10：00～12：00 |
| 4 自分の感情にうまくつきあう ～トラウマに対応するツール～ | 11月19日（日）10：00～12：00 |
| 5 育った環境・子どもへの暴力の影響 ～傷ついた心のケアをするために～ | 12月 3日（日）10：00～12：00 |
| 6 自尊心 ～わたしがわたしを大切にしよう！～ | 平成30年 2月18日（日）10：00～12：00 |

お問い合わせ先：庄内ちえりあ TEL：090-7790-2029（大久保） FAX：0233-77-4196（坂本）



「こんにちは！酒田市です！」 酒田エフエム ハーバーRADIO (76.1メガヘルツ) 正午放送

酒田市では、市政情報や市民生活に密着したさまざまな情報を地域コミュニティ エフエム「酒田エフエム放送ハーバーRADIO」を通じてお伝えしています。今回は、6月21日に放送しました「男女共同参画週間について」を紹介いたします。

テーマ 「男女共同参画週間」について

FM:今日は、「男女共同参画週間」について、「酒田市男女共同参画推進センター」推進員の公平さんからご紹介いただきます。

さてこの、「男女共同参画週間」、毎年6月23日から29日までを期間とされていますが、酒田市では今年度どのような取り組みを行うのでしょうか。

職員:はい、酒田市では今年度、この週間に合わせ毎年実施している「パネル展」に加え、「男女共同参画講演会」を企画しました。男女共同参画推進に向け第一線で活躍している、東北公益文科大学公益学研究科長の伊藤真知子さんを講師にお迎えして開催します。

FM:今年度は、パネル展や講演会とおして、多くの方たちに男女共同参画を伝える良い機会になりそうですね。

それでは、内容について「パネル展」から教えていただけますか。

職員:はい、「パネル展」は、男女共同参画週間に合わせ、明日6月22日から29日まで、酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」がある中町の交流ひろばで行います。今年度のパネル展のテーマは「男女共同参画早分かり」です。男女の意識の変化や、進学率など教育に関する統計、仕事と家庭における共働き世帯数の推移等の統計も展示しておりますので、お近くにお越しの際はぜひご覧になってください。酒田市広報6月16日号でも、ご案内しておりますのでご覧ください。

FM:興味深い内容の統計も展示されるんですね。是非、たくさんの方に見ていただきたいですね。

それでは次に、男女共同参画講演会の内容について教えてください。

職員:はい、講演会は、今週の土曜日6月24日午前10時から酒田市中町にぎわい健康プラザ1Fの「集いのスペース」において、東北公益文科大学地域共創センターと共催で開催します。入場無料で、18歳以上の男女どなたでも参加できます。リラックスした雰囲気の中、講師の伊藤真知子先生から、「まちが語る女性も男性も活躍」講演会と題して、わかりやすくお話ししていただきます。また、当日の司会進行は、矢口副市長が行います。よりいっそう楽しめる講演会になると思いますので、皆さん是非お越しください。

FM:伊藤真知子先生と矢口副市長のトークも期待できそうですね。

職員:そうですね。講演会後には、市民の皆さんとの意見交換も予定しております。理解を深めていただく良い機会になればと思っております。

FM:参加者も楽しめる講演会ですね。こちらは事前申込が必要なんですか。

職員:はい、必要です。お申し込みは、電話番号26-5616(2回)酒田市男女共同参画推進センターまでお申し込みください。酒田市広報6月1日号でも、ご案内しておりますのでご確認ください。

FM:もし、申込を忘れてしまったら、当日参加でも大丈夫でしょうか？

職員:はい、大丈夫です。会場の関係上、定員は50名様までとなっておりますが、フリースペースもございますので、当日ふらりと見えられた方も大歓迎いたします。是非、足を運んでいただきたいと思っております。ご参加お待ちしております。

FM:気軽に参加できる感じの講演会で良いですね。ところで公平さん、「日本は男女格差大国だ」という事を耳にすることがあるのですが、世界的にみて日本の男女格差って、そんなに大きいんですか？

職員:はい、世界経済フォーラム「2016 ジェンダー格差報告書」によると、男女格差のない国ランキングで日本は、144ヶ国中111位なんです。

FM:111位なんて、すごく低いんですね。日本はそこまで遅れているんですか。

職員:そうですね。日本の順位が低いのは、特に経済と政治の分野の男女格差が大きな原因となっているようです。

FM:経済・政治の分野ですか…。どうしても男社会というイメージはありますよね。

職員:やっぱり、そんなイメージがありますよね。〇〇さんは、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律ってご存知ですか。

FM:いわゆる「女性活躍推進法」のことですね。

職員:そのとおりです。多くの女性から、「持っている能力を発揮して働いてほしい」という趣旨の法律ですが、この法律の施行により、政治・経済の分野でも女性の活躍が期待されています。

FM:女性活躍というと聞こえは良いですが、女性は、家事・育児に加えて仕事もがんばってねということですよね。女性にとっては、かなり大変ですよね。

職員:そうですね。そのため女性の活躍は、イクメン・イクボスなどの男性の活躍がセットになっていないと進まないんです。特に育児は「期間限定」です。ぜひ、男性も子育てを楽しんでもらいたいですよね。

FM:男性も家事・育児をするとすると、逆に、男性の方の仕事がおろそかになってしまうことはないんでしょうか。

職員:男性は、家事や育児のために、仕事を早めに切り上げようとする、以前と同じかむしろそれ以上の成果を出そうと考えるようです。結果、逆に能力が良くなるみたいですよ。

FM:なるほど、個人にとっては、働く意欲が高まり能力が上がり、子どもと接する時間も増える。いいことづくめですね。

職員:はい、企業にとっても生産性の向上や社員の福利厚生などの面でもメリットにつながりますね。働きやすい職場づくりは企業戦略にもつながりますし、働き方改革にもつながっていきます。これからは、「女性活躍」という言葉を使わなくとも、女性も男性も活躍できる男女共同参画社会が実現できればと思っております。

FM:そんな時代がくるといいですね。ただ「男女共同参画」という言葉自体、何だか難しい印象がありますね。堅苦しく感じます。

職員:そうですね。難しく解らないとおっしゃる方は多いですね。わかりやすく言うと、男女共同参画とは、「性別に関わらず、だれもがそれぞれの個性で輝いて生きる。皆がそれぞれのよいところ、得意なところを認め合い、伸ばし合う社会。つまり、みんなちがって、みんないい。」ということなんです。

FM:「男はこう。女はこう。」と決め付けられないということなんですか。

職員:はい、高度経済成長期は「男は仕事。女は家庭。」で、うまくいっていたかもしれませんが、今や、「男も女も、仕事と家庭。」という時代です。それぞれどう分担するかはご家庭の中で決めればよいですね。男性だって育児休業がとれる時代です。だから「男はこう。女はこう。」と決め付けずに、だれもが私らしく、自分らしく生きられるほうが良いということなんです。

FM:まさに、今回開催される「まちが語る女性も男性も活躍」講演会は、「みんなが活躍できる社会の実現」に、ふさわしいタイトルですね。

職員:はい。今回の講演会をきっかけに、日本の社会規範となっている性別役割分業や社会の枠等、人との関係性を考え、ひとりでも多くの方に、気づきを促すことができたらと思っております。

FM:そうですね。「女性も男性も、それぞれの立場で輝いていく。」そんな社会になるといいですね。今日は、男女共同参画週間について、酒田市男女共同参画推進センター推進員の公平さんからご紹介いただきました。どうもありがとうございました。

平成29年度 男女共同参画週間 6/23(金)~29(木)

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。内閣府では「女性も男性も、自らの意思により個性と能力を発揮して活躍できる職場を作るためのキャッチフレーズ」を募集し、応募総数3,050点の中から、審査の結果、以下の作品を選びました。

最優秀作品 「男で^{まる}〇、女で^{まる}〇、共同作業で^{にじゅうまる}◎。」 **土橋義弘さん(埼玉県)**

優秀作品 「働きやすいと、生きやすい。」 **河野稔さん(東京都)**

「ダイバーシティ 絶賛推進中！」 **高地利昭さん(静岡県)**



ウィズサポーター募集 ウィズでは随時サポーターを募集しております。ウィズでは、現在9名の方が企画・運営に参加し活躍しております。いきいきと活動しているサポーターの中から今回は、酒田市役所職員の守屋純さんを紹介いたします。“自分らしく共いきいきと生きることができるまちづくり”に参加してみませんか。

ウィズサポーターの声

第一回目 守屋 純さん

はじめまして。ウィズサポーターの守屋です。私は、ウィズサポーター立ち上げの頃、担当としてウィズで働いていました。男女共同参画のことは何も知らない状態で担当となり、周りの皆さんの協力を得て、なんとか毎日を過ごしていました。市広報でウィズサポーターを募集し、男女共同参画について勉強しながら、さまざまな講座の企画もやりました。皆さん、思っていることはそれぞれ。なかなか話はまとまりませんでしたが、お互いに刺激を受け、それもまた楽しいという感じでした。当時のサポーターはそれぞれ自分のやりたいことを見つけ、今はそれぞれの道を進んでいます。男女共同参画というととっつきにくい印象がありますが、自分らしく生きていけるまちづくりといったらどうでしょうか。自分のやりたいこと、なりたい自分を見つけるため、みなさんも一緒に活動してみませんか。(ウィズサポーター:守屋 純)

酒田市男女共同参画推進センター **ウィズ**

相談 月~金 / 9:00 ~ 16:00

Tel / 0234 (26) 5616 Fax / 0234 (26) 5617

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内

開館 月~土 / 9:00 ~ 22:00、日・祝 / 9:00 ~ 17:00

E-mail / with@city.sakata.lg.jp

